



環境活動レポート

2018年度活動報告
(2018年1月～2018年12月)

株式会社 東興電機製作所

2019年1月20日

内容

1. はじめに
2. 対象範囲
3. 環境方針
4. 環境管理組織図
5. 環境目標と実績
6. 環境活動計画・取組結果とその評価、次年度の取組内容
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
8. 外部からの苦情などの受付状況及び対応結果
9. 代表者による全体評価と見直しの結果

1. はじめに

株式会社東興電機製作所は1963年に創業し、製造部門（医療機器製造および放射線測定装置製造）と、ITに関する様々なサービスを提供するTOKO DS (ITサービス部)から成り立ちます。2008年新年の朝礼にて、今年は環境問題に社員全員が感心を持ち、会社として何ができるか考え、具体的に行動していこうという社長の挨拶から当社のエコ活動は始まりました。同年6月、取引先での会合で「エコアクション21」の存在を知り、当社でも取得を目指して実際に動き始め、2009年4月に認証取得し、現在もエコアクション21のシステムに基づいた継続的な環境保全活動につとめています。

2. 対象範囲

・事業所名および代表者氏名

株式会社 東興電機製作所
代表取締役社長 坂 郷治

・所在地

三鷹本社 : 〒180-0006 東京都武蔵野市中町1-9-5 第一中央ビル4階
青梅工場 : 〒198-0022 東京都青梅市藤橋3-3-5
柏事業所 : 〒277-0803 千葉県柏市小青田5-12

・環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 : 川本 純子
TEL 0422-55-5055 (代表)
FAX 0422-55-5051
E-mail salesteam.japan@tokods.com

・事業内容

青梅工場（製造部） : 超音波診断装置プローブ製造、放射線測定装置製造・検査、
検体検査装置製造・検査
柏事業所（製造部） : 超音波診断装置プローブ製造
三鷹本社（ITサービス部） : 開発製品評価・検証、WEBサイトユーザビリティコンサルティング、
取扱説明書作成、技術文書翻訳

・設立 1963年6月

・資本金 1,000万円

・従業員数 47名

・敷地面積 三鷹本社 : 86.1㎡ / 青梅工場 : 1495.96 ㎡ / 柏事業所 : 198.72㎡

・対象範囲 当社は全組織・全活動・全従業員を対象としています

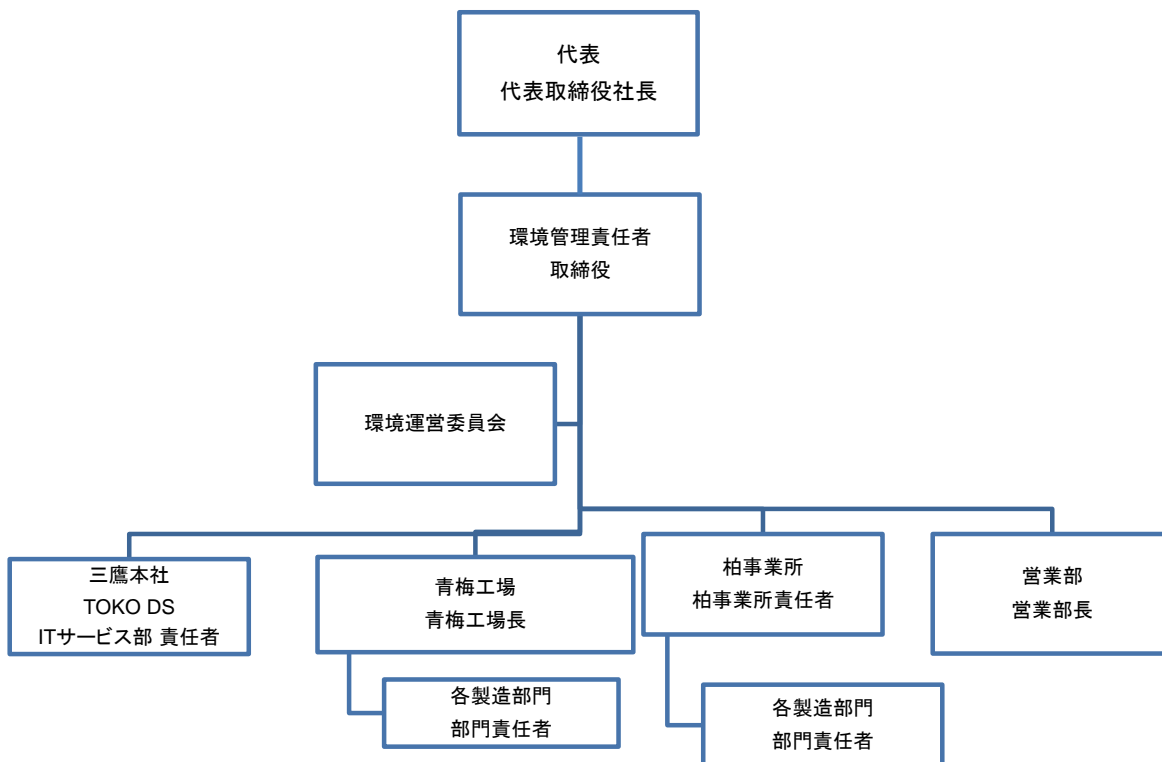
3. 環境方針

株式会社東興電機製作所は、医療機器の製造、放射線測定装置の製造およびITに関する様々なサービスを提供している環境負荷の低い事業所です。次世代に豊かな地球環境を引き継ぐため、社員ひとりひとりが楽しみながら環境保全活動に取り組んでいきます。

- (1) 製造工程、ITサービス業務で使用する電気消費量の削減に取り組めます。
- (2) 社員全員が会社の環境負荷を把握し、省エネルギー・廃棄物の削減に努めます。
- (3) 製品不良率の削減、早期納品、およびIT技術の活用による業務効率化により、環境負荷の低減に取り組めます。
- (4) 社員全員が環境保全に対する意識向上に努めます。
- (5) 社外に環境保全活動の重要性を発信していきます。
- (6) 環境に関する法規制や条例および当社が合意するその他の要求事項を遵守します。
- (7) グリーン購入に努めます。

平成24年10月24日
株式会社東興電機製作所
代表取締役社長 坂郷治

4. 環境管理組織図



役割、責任及び権限

代表	①代表者として環境経営全般に関して責任と権限を持つ。
	②環境方針を承認、周知する。
	③資源（人・もの・金）の決定権を有する。
	④定期的にEA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する。
	⑤環境管理責任者、環境運営委員等を任命する。
環境管理 責任者	①EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築、実行し、環境面の実績の向上をはかる。
	②上記結果を代表者へ報告する。
	③EA21文書類の承認、決済を行う。
	④環境委員会の委員長として環境保全活動全般の舵取り、実行推進を行う。
	⑤資源（人・もの・金）の承認を行う。
	⑥環境委員、部門代表者を指名する。
	⑦社外からの苦情などの環境管理情報を受理、記録する。
	⑧その他環境マネジメントシステムの確立、実施、維持及び管理に関し必要な業務を行う。
環境運営 委員会	①環境方針の作成、見直しを行う。
	②環境マネジメントシステムの運用管理に必要な、人的資源、技能等の準備を行う。
	③環境管理責任者を推薦し、環境マネジメントシステムの確立、実施、維持等に関する業務及び、環境マネジメントシステムの実績に関し本会議に報告する業務を行う。
	④環境への負荷の自己チェックを実施する。
	⑤環境への取り組みの自己チェックを実施する。
	⑥環境目標の設定及び環境活動計画の作成、見直しをする。
	⑦環境経営の手順書の作成及び改定をする。
	⑧環境管理体制の整備をする。
	⑨環境マネジメントシステムの見直しをする。
	⑩環境管理委員会の円滑な運営のための各部門内の連絡・調整をする。

5. 環境目標と実績

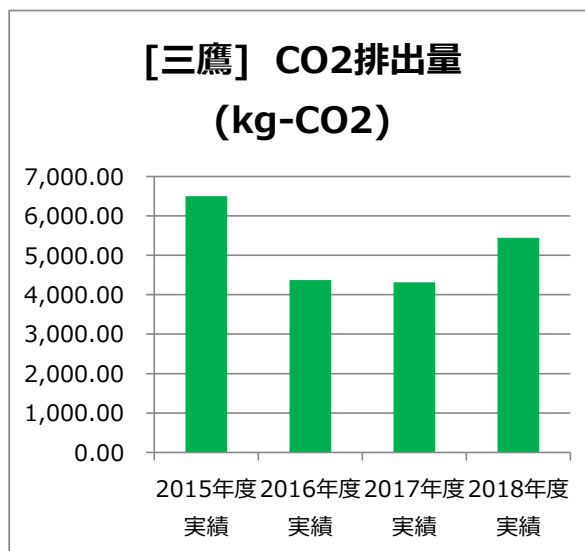
三鷹本社

環境負荷の低減

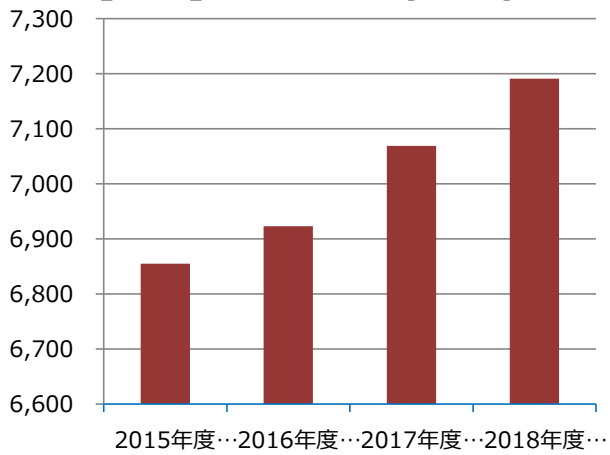
CO2排出量 (kg-CO2) の削減	2015年度実績	2016年度実績	2017年度実績	2018年度実績	【目標】2018年度 *基準年比削減率(%)	【実績】2018年度 *基準年比削減率(%)	【目標】2019年度2018年度実績を基準	
CO2排出量 (kg-CO2)	6,503.08	4,373.49	4,318.00	5,441.59	0%	26.0%	0%	
電力使用量 (kWh)	6,855	6,923	7,069	7,191	0%	1.7%	0%	
ガス使用量 (m3)								
ガソリン使用量 (ℓ)	1,309.97	392.82	380.10	912.86	0%	140.2%	0%	
灯油使用量(ℓ)								
廃棄物量	排出量紙の廃棄物量(kg)	81	98	183	120	0%	-34.4%	0%
	全一般廃棄物量(kg)	147	172	189	202	0%	6.9%	0%
上水使用量	上水量(m3)	*1	*1	*1	*1	*1	*1	

*基準年は前年度（2017年度）実績とする

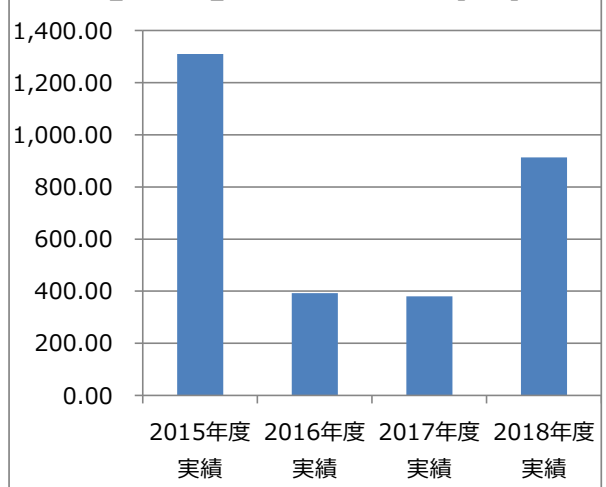
*1 賃貸オフィスのため水道使用量は不明



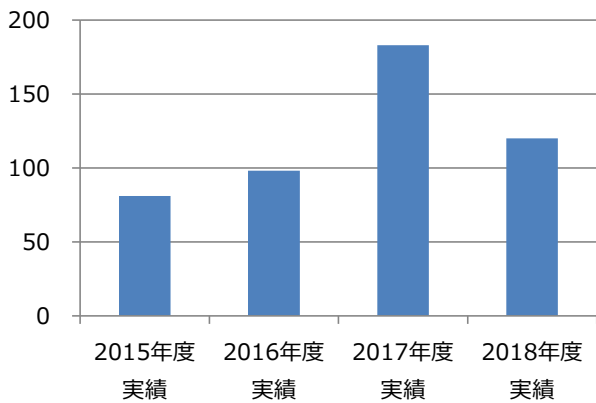
[三鷹] 電力使用量(kWh)



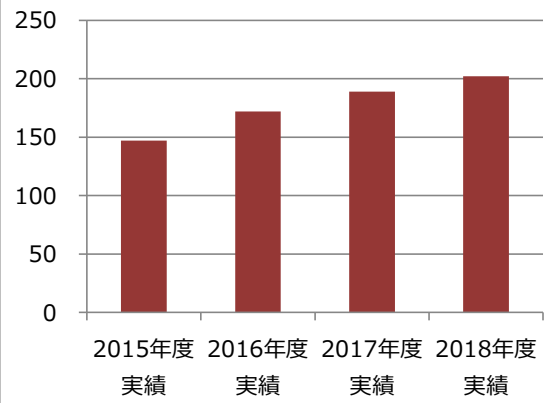
[三鷹] ガソリン使用(ℓ)



**[三鷹]排出量紙の廃棄物量
(kg)**



**[三鷹]全一般廃棄物量
(kg)**



青梅工場
環境負荷の低減

CO2排出量 (kg-CO2) の削減	2015年度実績	2016年度実績	2017年度実績	2018年度実績	【目標】2018年度 *基準年比削減率(%)	【実績】2018年度 *基準年比削減率(%)	【目標】2019年度2018年度実績を基準	
CO2排出量 (kg-CO2)	31,047.07	27,341.20	29,512.65	35,307.69	0%	19.6%	0%	
電力使用量 (kWh)	51,268	48,888	50,102	54,405	0%	8.6%	0%	
ガス使用量 (m3)								
ガソリン使用量 (ℓ)	2,221.14	852.38	790.60	1,214.52	0%	53.6%	0%	
軽油使用量(ℓ)		247.35	1,131.23	2,801.80	0%	147.7%	0%	
灯油使用量(ℓ)		108	144	72	0%	-50.0%	0%	
廃棄物量	排出量紙の廃棄物量(kg)	1,710	1,410	3,300	2,060	0%	-37.6%	0%
	全一般廃棄物量(kg)	1,545	1,426	1,100	520	0%	-52.7%	0%
	産業廃棄物量(kg)			1,090	980	0%	-10.1%	0%
上水使用量	上水量(m3)	175	143	174	168	0%	-3.4%	0%

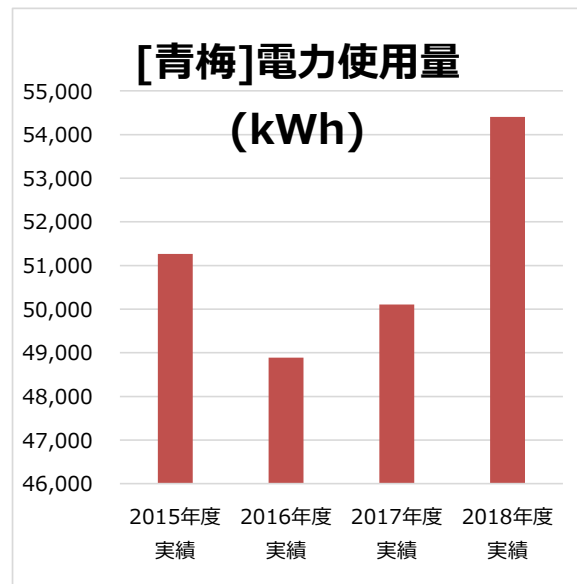
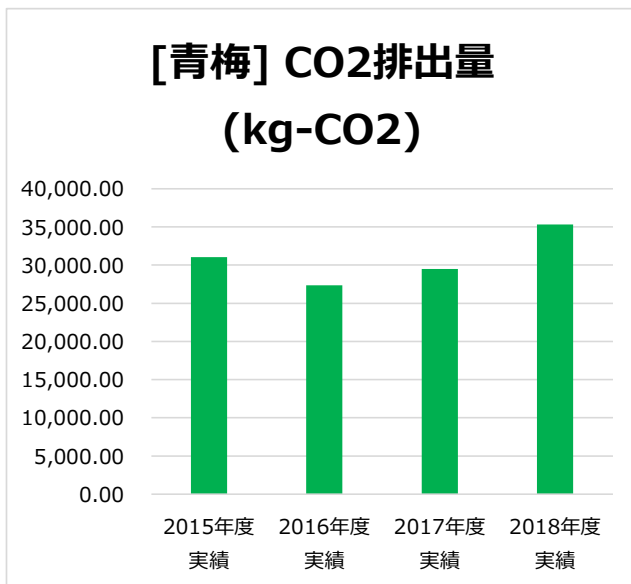
*基準年は前年度（2017年度）実績とする

東京電力(株)の排出係数：0.462 (kg-co2/kWh) を適用（平成30年12月27日環境省公表 平成29年度実績）

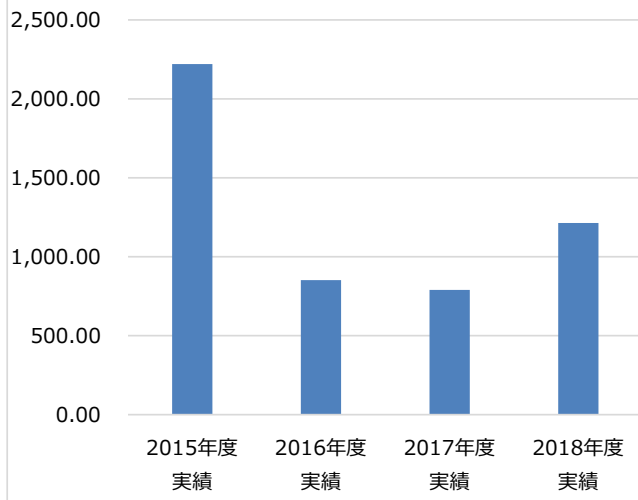
ガソリンの排出係数：2.32166 (kg-co2/L) を適用（環境省：排出量算定方法ガイドライン試案 Ver1.6）

灯油の排出係数：2.49193 (kg-co2/L) を適用（環境省：排出量算定方法ガイドライン試案 Ver1.6）

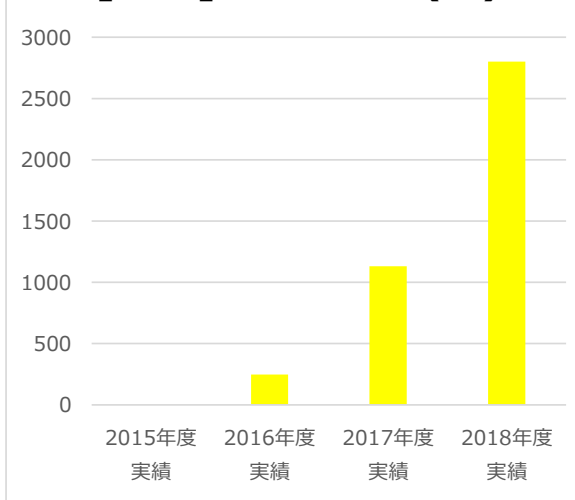
廃棄物量は柏事業所分も含む



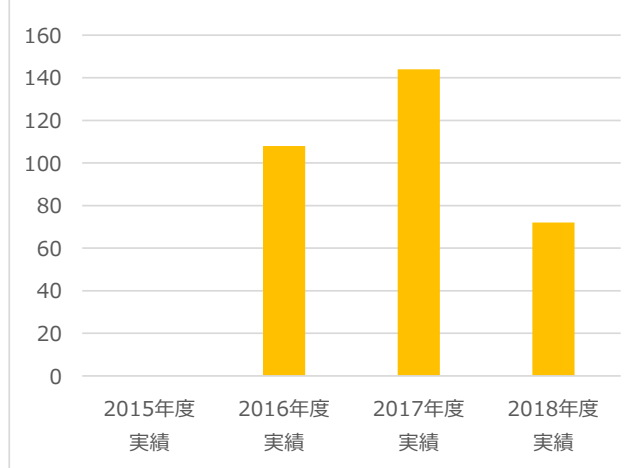
[青梅]ガソリン使用量(ℓ)



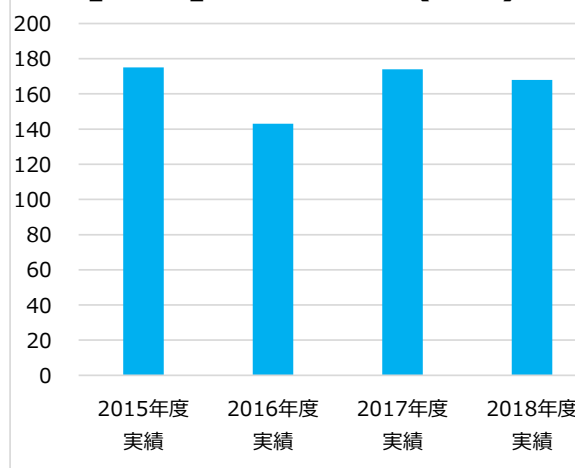
[青梅]軽油使用量(ℓ)



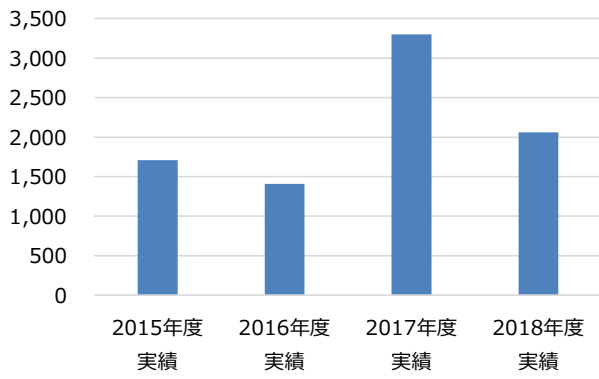
[青梅]灯油使用量(ℓ)



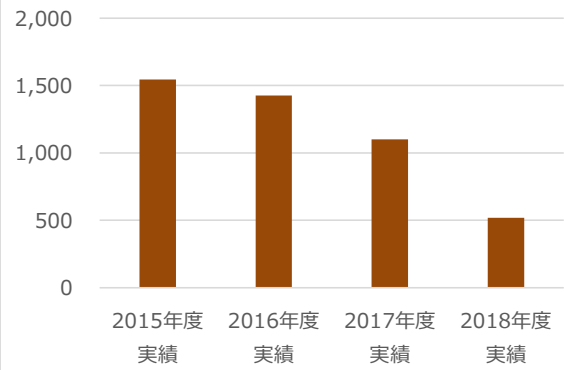
[青梅]上水使用量(m3)



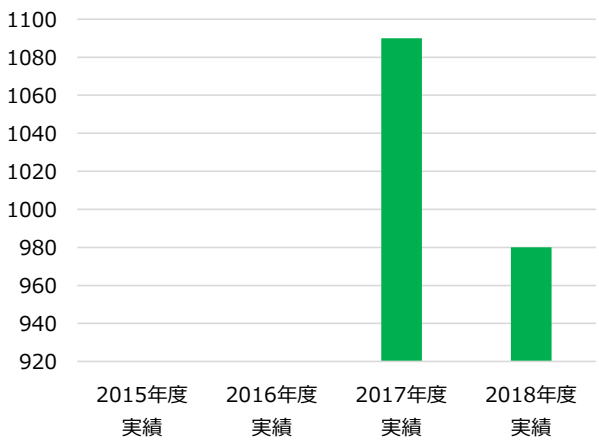
**[青梅]排出量紙の廃棄物量
(kg)**



**[青梅]全一般廃棄物量
(kg)**



[青梅]産業廃棄物量(kg)



柏事業所

環境負荷の低減

CO2排出量 (kg-CO2) の削減		2018年度実績
CO2排出量 (kg-CO2)		991.76
電力使用量 (kWh)		1,196
ガス使用量 (m3)		
ガソリン使用量 (ℓ)		189.18
軽油使用量(ℓ)		
灯油使用量(ℓ)		
上水使用量	上水量(m3)	1

柏事業所のデータは11月と12月のみ

東京電力(株)の排出係数：0.462 (kg-co2/kWh) を適用 (平成30年12月27日環境省公表 平成29年度実績)

ガソリンの排出係数：2.32166 (kg-co2/L) を適用 (環境省：排出量算定方法ガイドライン試案 Ver1.6)

灯油の排出係数：2.49193 (kg-co2/L) を適用 (環境省：排出量算定方法ガイドライン試案 Ver1.6)

廃棄物は全て青梅工場に運搬

目標値は2020年度以降に設定

・三鷹本社、青梅工場、柏事業所

評価基準 ○目標達成、△目標未達成ただし基準年比減、×目標未達成、－評価対象外

自らが生産・販売・提供する製品及びサービス		
目標	評価	実績
輸送時のエコドライブの実施	○	製造した受注品を自社で納品することになった。トラックでの輸送時にはエコドライブを心掛けている。
社員への環境教育		
目標	評価	実績
環境活動の活性化	○	・月毎のエネルギー使用量をグラフ化し、月次会議で発表 社員の意識が高まっている
社外への働きかけ		
目標	評価	実績
情報公開、環境活動の推進	○	・環境方針やエコアクション21の取り組みを当社製造部門Webサイトにも掲載 (2013年7月にサイトリニューアル) 製造部門： https://www.tokods.com/tds/about-us/environment/ ITサービス部門： https://www.tokods.com/about-us/eco-ea21/ 環境への取り組み特設サイト： http://www.tokods.com/eco/index.html
グリーン購入		
目標	評価	実績
グリーン購入（エコマーク製品の購入）に努める	○	・新規の名刺用紙については、レイナ再生紙（再生紙率20%以上）を使用 ・ティッシュペーパー、トイレットペーパーを再生紙100%の環境負荷の低い製品を継続して使用 ・事務用品購入担当者へ、グリーン購入を優先的に購入するよう呼びかけを実施 ・社内で使用する用紙を環境負荷の低い、植林樹パルプを使用したものを継続して使用

* 2018年度については、2018年1月1日～2018年12月31日までの期間とする。

* 廃棄物の分別、廃棄方法については、本社および青梅工場所在地の東京都武蔵野市、青梅市のごみの種別、分別の仕方 に従っている。

* 環境負荷の把握・分析の結果、当社は環境負荷が低い事業所であることが明らかとなったため、各削減目標設定値を低く据えています。さらなるCO2削減、環境負荷の低減に努める。

6. 環境活動計画・取組結果と評価

柏事業所は2018年11月よりデータを取り始めたため、今年度は評価せず

評価基準 ○目標達成、△目標未達成ただし基準年比減、×目標未達成、－評価対象外

CO2排出量の削減 - 電力使用量					
環境活動計画の内容	評価	目標値	実績値		取組結果
電力使用量 - 不要照明の消灯 - 周辺機器の節電 - 内温度調節の徹底	X	三鷹本社			<ul style="list-style-type: none"> ・お昼休みに消灯した。 ・不要な電気はこまめに消した。 ・OA機器は使用しない時は電源OFFか省電力モードに設定した。 ・離席するときにはパソコンをスタンバイモードにした。 ・暖房便座は夏期は電源を落とし、使用後は蓋を閉めた。 ・冷房温度を27℃±1℃、暖房温度20℃±1℃に設定し、クールビズ、ウォームビズを目標としたが、猛暑等の為できないこともあった。
		7,069	7,191	(kWh)	
		2017年度の実績値に対し		1.73%	
	X	青梅工場			
		50,102	54,405	(kWh)	
		2017年度の実績値に対し		8.59%	
<三鷹本社> 以上の取り組みを実施したが、従業員数が増加した時期もあり、目標を達成できなかった。					
<青梅工場> 以上の取り組みを実施したが、従業員数が増加したせいもあり、目標を達成できなかった。					
次年度取組内容	2018年度の排出量実績に対し、現状を維持する。青梅工場LED化について調査を行う。				

評価基準 ○目標達成、△目標未達成ただし基準年比減、×目標未達成、－評価対象外

CO2排出量の削減 - ガソリン使用量					
環境活動計画の内容	評価	目標値	実績値		取組結果
ガソリン使用量 - 車輛の点検整備の徹底 - エコドライブの実践 - 適切な資源の選択、設定	X	三鷹本社			・タイヤの空気圧が適正に保たれているか乗車前に確認した。 ・使わない荷物を降ろした。 ・おだやかな発進、加速を心がけた。 ・目標に近づいたら早めにアクセルをゆるめた。
		380	913	(ℓ)	
		2017年度の実績値に対し		140.16%	
	X	青梅工場			・慣性走行を活用した。 ・経済速度で運転した。(一般道40km/h, 高速道路80km/h) ・十分な車間距離をとって速度の変動をなくした。 ・アクセルを離して減速開始ポイントを早めにした。 ・駐車時のアイドリングをやめた。 ・クーラーの使用は控えた。 ・暖機運転をやめた。 ・公共交通機関での通勤を心がけた。
		791	1,215	(ℓ)	
		2017年度の実績値に対し		53.62%	
<三鷹本社> 新規に開設された柏事業所との物品の移動等で使用量が増加したため、目標を達成することができなかった。					
<青梅工場> 新規に開設された柏事業所との物品の移動等で使用量が増加したため、目標を達成することができなかった。					
次年度取組内容	2018年度の実績実績に対し、現状を維持する。				

評価基準 ○目標達成、△目標未達成ただし基準年比減、×目標未達成、－評価対象外

CO2排出量の削減 - 軽油使用量					
環境活動計画の内容	評価	目標値	実績値		取組結果
軽油使用量 - 車輛の点検整備の徹底 - エコドライブの実践 - 適切な資源の選択、設定	X	青梅工場			<ul style="list-style-type: none"> ・タイヤの空気圧が適正に保たれているか乗車前に確認した。 ・使わない荷物を降ろした。 ・おだやかな発進、加速を心がけた。 ・目標に近づいたら早めにアクセルをゆるめた。 ・慣性走行を活用した。 ・経済速度で運転した。(一般道40km/h, 高速道路80km/h) ・十分な車間距離をとって速度の変動をなくした。 ・アクセルを離して減速開始ポイントを早めにした。 ・駐車時のアイドリングをやめた。 ・クーラーの使用は控えた。 ・暖機運転をやめた。 ・公共交通機関での通勤を心がけた。
		1,131	2,802	(ℓ)	
		2017年度の実績値に対し		147.68%	
次年度取組内容	2018年度の実績値に対し、現状を維持する。				

評価基準 ○目標達成、△目標未達成ただし基準年比減、×目標未達成、－評価対象外

CO2排出量の削減 - 灯油使用量					
環境活動計画の内容	評価	目標値	実績値		取組結果
灯油使用の節制	X	青梅工場			<ul style="list-style-type: none"> <青梅工場> 灯油の使用量が減少したため、目標は達成できた。 3Fにエアコンが設置されたが、数が十分でないため、灯油の使用を完全になくすのは難しい状況。
		144	72	(ℓ)	
		2017年度の実績値に対し		-50.00%	
次年度取組内容	2018年度の実績値に対し、現状を維持する。				

評価基準 ○目標達成、△目標未達成ただし基準年比減、×目標未達成、－評価対象外

CO2排出量の削減 - 上水使用量の削減

環境活動計画の内容	評価	目標値	実績値		取組結果
節水の徹底	－	三鷹本社			<ul style="list-style-type: none"> ・水道使用中、水を出しっぱなしにしない。 ・水道の水を出しすぎなかった。 ・水道の蛇口を使用後、しっかり閉めた。 ・水道の水を、こまめに止めた。 ・水漏れのチェックをした。
		－	－	－	
		2017年度の実績値に対し	－	－	
			－	－	
	○	青梅工場			<ul style="list-style-type: none"> <三鷹本社> 賃貸オフィスのため水道使用量は不明な為、実績値はなし。ただし、節水への取り組みは実施した。 <青梅工場> 以上の取り組みを実施し、目標を達成できた。
		174	168	(m3)	
2017年度の実績値に対し		-3.45%	減少		
	次年度の取組内容				
2018年度の排出量実績に対し、現状を維持する。					

評価基準 ○目標達成、△目標未達成ただし基準年比減、×目標未達成、－評価対象外

CO2排出量の削減 - 廃棄物量の削減

環境活動計画の内容	評価	目標値	実績値		取組結果
	X	三鷹本社			<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別を徹底した。 ・社内文書は両面印刷、省インクモードで印刷した。 ・社内文書は裏紙を利用した。 ・使用済みインクカートリッジは業者指定のリサイクル店へ返却。 ・ゴミを捨てるたびにその量を計測、記録した。
		排出量紙の廃棄物量			
		183	120	(kg)	
		/	2017年度の実績値に対し		
			-34.43%	減少	
		全一般廃棄物量			
		189	202	(kg)	
		/	2017年度の実績値に対し		
	6.88%		増加		
	○	青梅工場			<ul style="list-style-type: none"> <三鷹本社> 以上の取り組みは実施したが、従業員が増加した時期もあり、全一般廃棄物については、目標を達成できなかった <青梅工場> 以上の取り組みは実施し、目標を達成することができた
		排出量紙の廃棄物量			
		3,300	2,060	(kg)	
		/	2017年度の実績値に対し		
			-37.58%	減少	
全一般廃棄物量					
1,100		520	(kg)		
/		2017年度の実績値に対し			
	-52.73%	減少			
産業廃棄物量					
1,090	980	(kg)			
/	2017年度の実績値に対し				
	-10.09%	減少			
次年度取組内容	2018年度の排出量実績に対し、現状を維持する。				

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規の違反・訴訟等は、当社の環境関連法規制一覧表にてチェックした結果、過去および現在において一切ありませんでした。また、創業以来、関係機関等からの法規制違反の指摘、近隣からの指摘・苦情もありません。なお、下記法規制等が当社に該当いたします。

- 法律 -

環境基本法

循環型社会形成推進基本法

RoHS指令

改正RoHS指令

REACH規制

PFOS / PFOA 規制

下水道法

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

道路運送車両法

消防法

労働安全衛生法電離放射線障害防止規則

労働安全衛生法有機溶剤中毒予防規則

グリーン購入法

フロン排出抑制法

- 条例 -

【東京都】

東京都健康と安全を確保する環境に関する条例

(東京都環境確保条例等)

【武蔵野市】

武蔵野市廃棄物の処理及び再利用促進に関する条例

【青梅市】

青梅市廃棄物の処理及び再利用促進に関する条例

【千葉県】

千葉県廃棄物の処理の適正化等に関する条例

8. 外部からの苦情などの受付状況及び対応結果

2018年度、外部からの苦情はありませんでした。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

株式会社 ミラプロと資本提携および医療機器全般に関する業務提携を行い、2018年9月19日を以てミラプログループの傘下に入り、新役員体制のもと 両社の得意分野を結集し相乗効果を最大限に発揮し、お客様ご満足いただける製品およびサービスをご提供すべく取り組んでいる。

また、顧客工場が青梅から柏に移転したことに伴い、2018年10月に柏事業所を新設し、既存顧客の環境変化へ適切に対応すると共に、新規顧客獲得を目指している。

新入社員への教育体制は整っているが、中途入社社員に対しては、適宜教育を実施しているため、品質、環境教育が不十分であるため、今後適切な教育体制を構築、運用していく必要がある。

通い箱が廃止され、倉庫に納入する様、輸送形態が変更された事に伴い、社内で製品を輸送用段ボールに積み込みまた倉庫で出すという無駄な作業が発生している。段ボールに適切にラベリングするなど効率的な作業方法の検討が必要。また、外部輸送業者の路線混載便を活用した定期運送なども検討している。

IT部門の知見を活かし、受注から出荷まですべての進捗を把握、一括管理するための仕組みを構築していく。

平成31年1月20日
株式会社東興電機製作所
代表取締役社長 坂郷治